

News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和8年3月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび令和8年3月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和8年3月31日
- (2) 調査対象 県下35商工会（うち35商工会より回答）【回収率100%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の10業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【中東情勢による原油高や資材高騰の影響が広がる中、コスト増と先行き不安が強まり、全業種で業況は悪化した】

産業全体の業況DI（景気動向指数・前年同月比）は-25.5（前月-20.0、前年同月-20.1）で、前月比5.5pt悪化した。中東情勢を背景とした原油価格の高騰や資材価格の上昇が、製造業・建設業を中心に広く影響し、小売業やサービス業においてもコスト負担の増加が続いている。先行きに対する不透明感が強まる中、経費構造への影響が一段と大きくなっている。

【製造業】

業況は-24.8（前月-21.0、前年同月-20.5）と前月に比べ3.8pt悪化した。中東情勢の影響により、化学繊維原料ナフサの調達難や価格高止まりが続き、機械稼働率低下や原価上昇を招いている。また米国関税措置を背景に経済摩擦の影響もみられ先行き不透明感が強まっている。

【建設業】

業況は-28.5（前月-14.3、前年同月-14.7）と前月に比べ14.2pt悪化した。原油価格高騰により、石油由来資材を中心に価格上昇や調達不安が広がっており、経営環境は厳しさを増している。

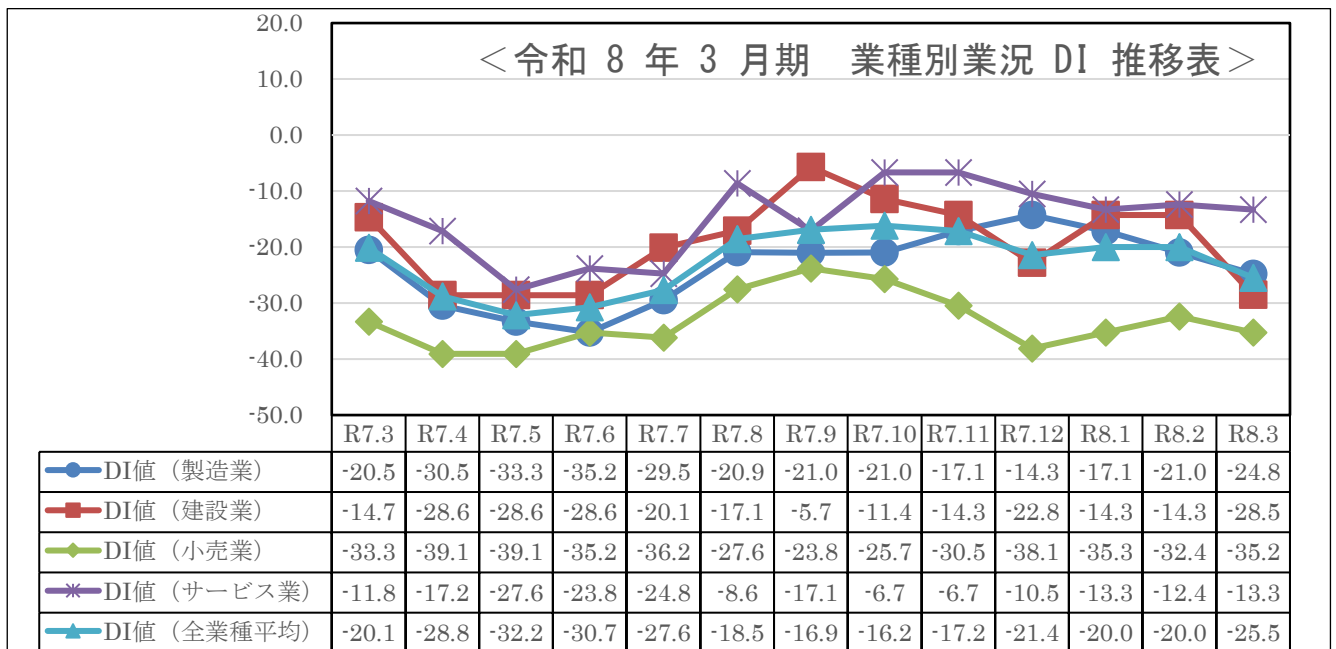
【小売業】

業況は-35.2（前月-32.4、前年同月-33.3）と前月に比べ2.8pt悪化した。原油高に伴う仕入や包装資材の上昇が収益を圧迫し、流通構造の変化で従来の仕入れが難しい事例もみられる。

【サービス業】

業況は-13.3（前月-12.4、前年同月-11.8）と前月に比べ0.9pt悪化した。旅館業の一部で需要の持ち直しがみられる一方、価格転嫁が進まず、物価高騰により利益が圧迫されている。洗濯業や理美容業は原油高に伴う燃料費や資材費の上昇、新規顧客獲得が課題となっている。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 Tel.054-255-9811〔担当：増田・片平〕



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】（食料品製造業・繊維工業・機械金属業）

- ・中東情勢の影響で機械用潤滑油の受注が停止している。（伊豆）
- ・原油価格の急激な高騰により、今後、幅広い分野で影響が生じると予想される。（富士駿東）
- ・食料品では仕入単価が前年の高騰後から高止まりしている。（中部）
- ・米国関税措置を発端とする経済摩擦の影響により、景気の衰退傾向がみられる。（中東遠）
- ・繊維工業では化学繊維の原材料「ナフサ」が中東情勢の影響により入手困難となっており、天然繊維の織物取扱いに限定されることで、機械の稼働率が低下している。（西遠）

【建設業】

- ・中東情勢による原油価格高騰の影響で、資材価格が上昇傾向にある。（伊豆）
- ・中東情勢の影響により、塗装工事等の特に石油由来の投入物を多く使用する業種では、今後の入荷確保や費用高騰への不安が高まっている。（富士駿東）
- ・土木建設業では事業者間で受注にばらつきがみられ、人材確保にも苦慮している。（中部）
- ・ナフサ不足により資材価格が高騰し、調達も困難となっている。このままでは価格転嫁が避けられない状況にある。（中東遠）
- ・資材の値上げや建材の供給停止により調達が不安定となっており、輸入設備の遅延も重なって工期に影響が生じ、契約トラブル等も懸念されている。（西遠）

【小売業】（衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業）

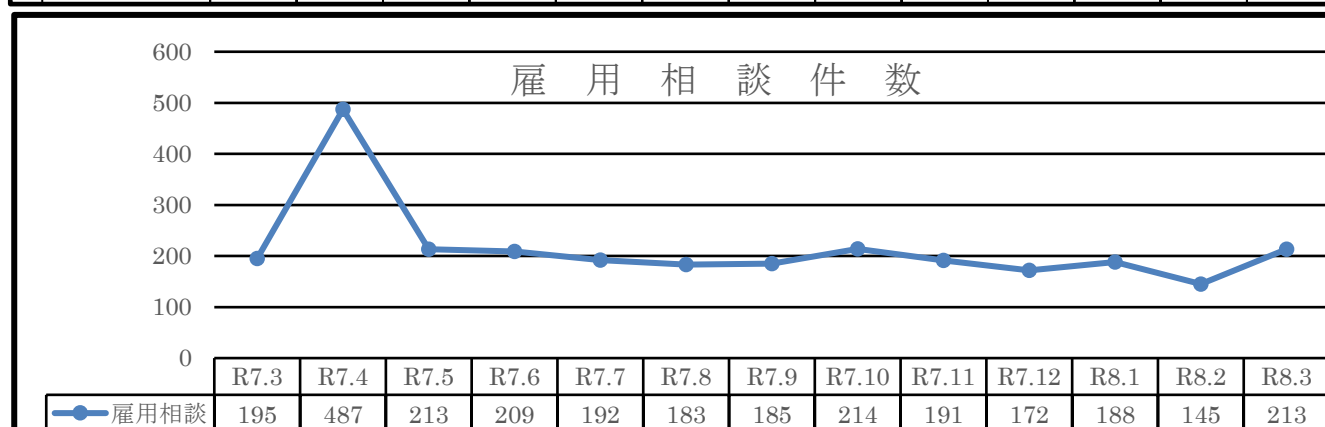
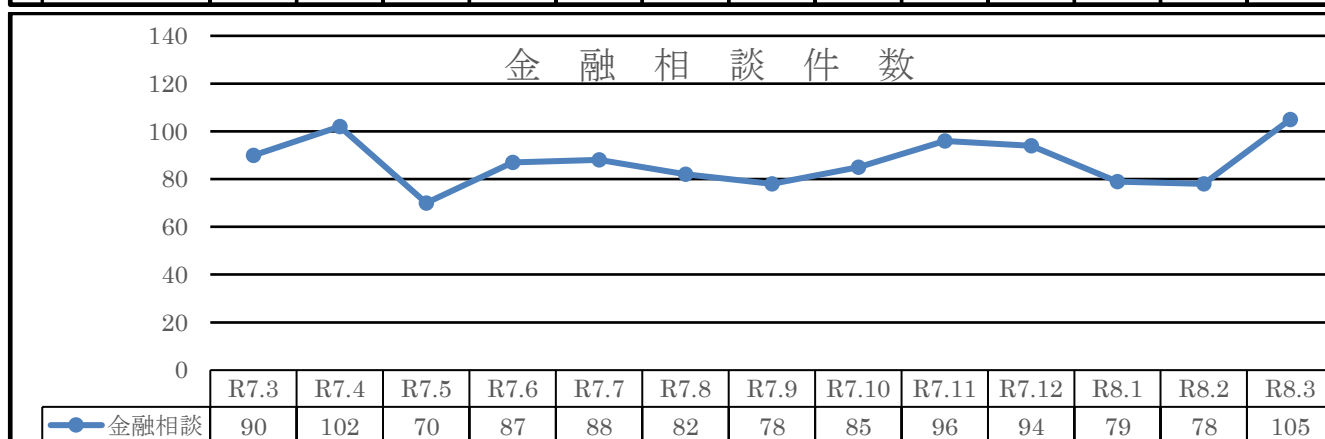
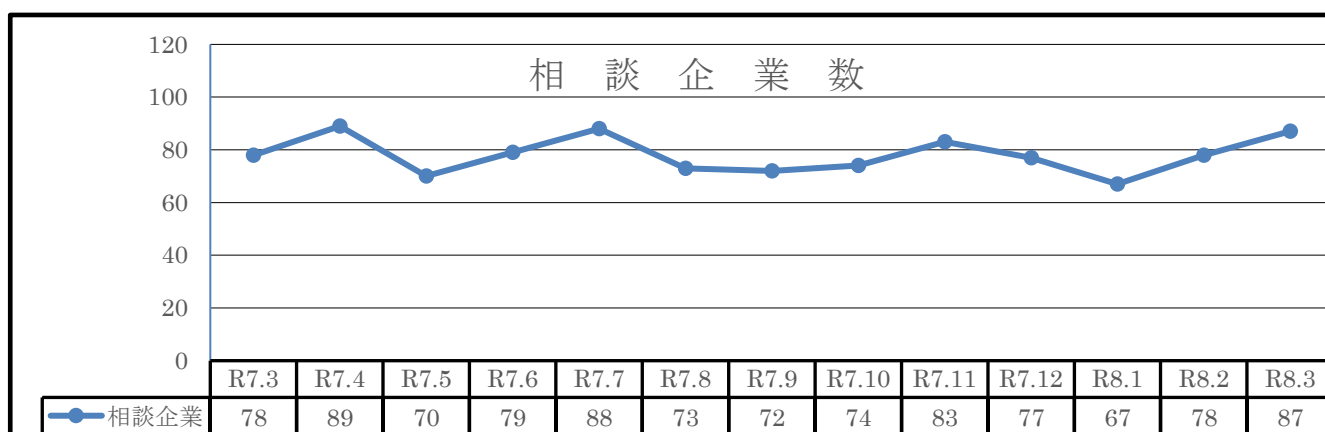
- ・販売価格の高騰が続く中で一部業種では売上は増加しているものの、実質的な販売量は横ばいにとどまっている。（伊豆）
- ・仕入や諸経費の上昇傾向が継続し、中東情勢による原油高の影響も懸念される。（富士駿東）
- ・耐久消費財では問屋の廃業が増加しており、従来通りの仕入れが難しくなっている。（中部）
- ・衣料品では暖かくなってきたことにより、春物が徐々に売れ始めている。（中東遠）
- ・食料品では店舗内のレイアウトを変更し、商品種類も増やし売上増加に向け取り組んでいるが、中東情勢による原油高の影響により、包装資材の値上がりが顕著であり、資材店にも入荷されていない時が多く、様々な点からコストカットを検討している。（西遠）

【サービス業】（旅館業・洗濯業・理美容業）

- ・洗濯業では素泊り客が増加した影響で業務量は多かったが諸経費高騰が続いている。（伊豆）
- ・旅館業の一部では需要の持ち直しがみられるものの、価格転嫁が進まず、物価高騰により利益が圧迫されているとの声があった。（富士駿東）
- ・旅館業では厳しい状況が続き、観光資源に頼らない独自の経営戦略が必要である。（中部）
- ・洗濯業では原油価格の高騰により燃料費や包装資材が高騰し、利益を圧迫している状況であり、先行きが懸念される。（中東遠）
- ・理美容業では Instagram 等で情報発信に取り組むものの、新規顧客の獲得に課題を感じている事業者が多い。（西遠）

金融・雇用相談実績月次報告(令和8年3月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	87	78	9
【金融相談件数】	105	78	27
新規融資(借換えを除く)	81	60	21
既存債務の借換え	18	10	8
借入れ条件変更	1	3	-2
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	5	5	0
【雇用相談件数】	213	145	68



【金融相談】

金融相談件数は105件と前月(78件)に比べ27件増加した。補助金活用を見据えた新規融資や、原油高・資材高騰に伴う資金需要が増加している。また金利上昇局面にあるものの、マル経融資を中心に新たな取り組みに対する前向きな相談もみられる。

<経営指導員コメント>

- ・補助金に関連する融資相談が増加している。(伊豆)
- ・ここ数ヵ月は相談が増加傾向にあり、今月は新規融資相談が5件あった。(富士駿東)
- ・石油関連の資材高騰に伴う融資相談があった。(中部)
- ・運転資金の調達について、マル経融資での対応が増加している。(中東遠)
- ・新たな取り組みに対する前向きな相談案件が増えている。金利は上昇しているものの、マル経融資は他の融資制度と比べて有利な面もあり、提案しやすい状況にある。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、213件と前月(145件)に比べ68件増加した。年度末に伴う雇用保険の資格取得・喪失手続きに関する相談が多く寄せられたほか、廃業や事業縮小の報告もみられる。また、建設業を中心に外国人労働者の受け入れに関する相談も継続している。

<経営指導員コメント>

- ・年度通算で4件の廃業や事業縮小があり、深刻な状況となっている。(富士駿東)
- ・入退社に伴う雇用保険の資格取得、喪失等に関する相談があった。(中部)
- ・一人親方労災保険の加入説明と手続き、労災事故の報告、年度末に伴う雇用保険の資格取得、喪失に関する相談があった。(中東遠)
- ・建設業では外国人雇用が広がり、実習生を受け入れている事業所が複数みられた。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・2/7(土)～3/8(日)に「河津桜まつり」が開催され、入込客数は629,890人となり、前年の542,764人から87,126人増加した。中国人観光客等の減少により大型バスは2割減となったものの、車や電車での来場が増加した。2/13に見頃を迎えたが、3/3の風雨でほぼ散ってしまい、3月の来客はそれほど多くなかったとみられる。(河津町)
- ・3/22(日)に「河津寄って軽トラ市」を開催、第50回を迎え、記念の餅まきが行われた。天気にも恵まれ、約1,200人の来場者で会場が賑わった。(河津町)
- ・2/1(日)～3/10(火)に開催した「第28回みなみの桜と菜の花まつり」の集計結果が公表され、入込客数は273千人(前年比約6%増)、伊豆急下田駅からのバス利用者も6.6千人(前年比26%増)となった。一方、観光バスの台数は前年比で約13%減少となり、団体バス旅行の需要低下がうかがえた。(南伊豆町)
- ・3/21(土)に「堂ヶ島トンボロ開き2026」を開催した。例年より観光客が多く、500人の来場があった。(西伊豆町)
- ・3/17(火)に清水町と沖縄県石垣市の両商工会女性部が、関係・交流人口の拡大に向けた新プロジェクト(特産品開発・PR等)を開始した。(清水町)
- ・3/22(日)に青年部主催で「かわせみマルシェ2026」を柿田川公園で開催した。(清水町)
- ・3/28(土)～29(日)に蒲原地区で「蒲原御殿山さくらまつり」が開催され、天候にも恵まれ、地域住民を中心に多くの来場者で賑わった。(静岡市清水)
- ・3/29(日)に「第19回静岡ゆい軽トラ市」が開催され、地元の特産品である桜海老や農作物等を目当てに多くの方が訪れた。(静岡市清水)
- ・3/19(木)に「高校生と企業を結ぶ合同企業説明会」を袋井市総合体育館さわやかアリーナにて開催し、企業70社に対し、高校生249名が参加した。(浅羽町)
- ・1/6(火)～3/29(日)に湖西・新居観光協会が主催した「牡蠣小屋」は、商工会所有の商標「新居のかきプリ丸」のPRを目的に着地型観光の取り組みとして実施した。赤潮の影響により漁獲量は減少したものの、テレビ等のマスコミ取材を契機に多くの来場者で賑わいをみせた。(新居町)